



そのだ南

尼崎市立園田南小学校
学校便り 第10号
令和2年1月9日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html



伝える力の基本の基

校長 佐藤 喜代子

令和の年が2年目を迎えました。今年オリンピックが予定され、スポーツの祭典に沸き、熱くなる感動の年になればと思います。庚子（かのえね）年は新しいことをスタートするのにふさわしい年といわれています。新しい波の始まりである一年が、皆様にとっても飛躍の年となりますよう祈っています。

締めくくりの3学期は、慌ただしく過ぎていきます。しっかりと一年を振り返り、新しい進路、新しい学年を気持ちよく迎えられるように職員一同、気を引き締め、心を込めて一日一日を大事に過ごしていきたいと考えています。至らないところもあるかもしれませんが、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

（新校舎が今月末には完成予定です。）

これからの時代に必要な力に「表現力」があります。自分の思いや考えをいかにうまく人に伝えられるか……。そのためのヒントをまとめた内容がありました。

表現力向上に向けて

新聞記者を経験した筆者（関西学院大学教授 小池洋次）が言える基本5原則は、

- 1 あきらめてはいけない。努力すれば道は開ける。努力は将来につながる。
- 2 恥をかこう。かけばかくほど（そして書けば書くほど）うまくなる。
- 3 良いものから学び、ノウハウを盗もう。 4 悩むのは当然。悩むことを楽しもう。 5 先手必勝、何事も早めに。

優れたライター、プレゼンターには必ず秘訣がある。良いと思ったらそのノウハウや方法を学ぶべきである。ここでいう「盗む」は、真似をするという意味である。どんな有名な作家であろうと演説上手な政治家であろうと悩んだことのない人はまずいない。悩むのは当然で、「悩む」のは進歩を求めていることの証明である。とすれば悩めば悩むほど良くなるはずである。悩むこと自体を楽しむことができれば、おのずから気分も落ち着いてきて、冷静に考え、自然な表現ができるようになるはずだ。「先手必勝」は、早めに準備に取りかかり、時間的な余裕を持っておくと、残り時間で最新情報を盛り込んでそれに対する自分の見解をまとめることができるであろう。「用意周到、準備万端、先手必勝」はビジネス界でよく使われている。

また、具体の10策として、

- ①主張を明確に。それができれば、終わったも同然。 ②書くときは一気に。確認はあとで。
- ③「書くことがない」はありえない。ネタは無量大にある。 ④寝ながら考える。潜在意識の活用。
- ⑤朝の1時間は夜の3時間 ⑥「3」のマジック ⑦からだを動かして考える。
- ⑧文章は必ず、他人のチェックを受けること。⑨集まりには早めに行くこと。場の感じをつかんでおく。
- ⑩会議では最初の質問を。

原稿でもスピーチでも何をいうかはっきりしないまま始めてしまうと、何度でも書き直す羽目に陥ることが必定である。「書き出しと結語が決まれば、途中は適当に流す」とまで言う人もいる。つかみと落ちは人に強い印象を与え、それだけで原稿やスピーチの評価をきめてしまうこともある。・自分が一番集中できる状況をしっかり把握して、それに併せて執筆するということである。・ポイントは3つという絞りをすると、多すぎず少なすぎずにまとめやすいし、テンポの良さも出しやすい。・コミュニケーションで大事な事は場所と人を知ることであり、自分のことをアピールするには、はじめの質問が一番インパクトがあり、容易である。

（原稿執筆の3つの構え） 原稿を書くときには、

- 1 練れば練るほど味が出る。 2 考えれば考えるほど原稿は良くなる。
- 3 悩みや迷いは無駄でなく、進歩である。

スキルを上げるためにはやはり練習が大事で、いかにアウトプットをするかである。普段から原稿を書いたり、人に話をするつもりでないと情報が入ってきてもそのまま抜けていき、身につかないということである。普段からの情報収

集や分析がなければ、しっかりしたメッセージを盛り込めない。インプットについても工夫と努力が必要で、大事なものはメモをとることであり、そのための準備をしていることである。より重要なのは、自分が何を考え、思いついたかで、将来に役立つ財産にもなる。

それらができた上で、本当に人の心を打つことができるかどうかは「人への思いやり」である。相手の立場に立ち、その心に寄り添うことができるかどうか、相手の悩みや痛みを理解できるかどうか。それができればおのずから何を書き、何を話せばよいかわかるであろう。思いやりこそがコミュニケーションの「基本の基」だと考える。

参照：月刊「兵庫教育」2019年7月号

たくさんの知識、うまい技法はもとより、一番大事なのは思いやりであることに納得させられました。人間がAIやロボットに取って代わることのできない大事な部分が、人の心を打つ表現につながるということです。日頃からいろいろな学びでインプット（覚える・記憶する・体験する）している子ども達の発信する力が伸びていくように、さまざまな手法で体験や経験をさせていきたいと考えています。高学年になってくると想像力豊かにノート作成したり、資料にまとめたりしているのをよく見かけます。将来のいろいろな場面で活躍し、輝く姿が目に見えようやうに本当に楽しみです。

1日(水)	元日	17日(金)	オープンスクール・避難訓練・書き初め展 ↓
2日(木)		18日(土)	
3日(金)		19日(日)	
4日(土)		20日(月)	児童集会(保健)
5日(日)		21日(火)	劇団四季(6年)
6日(月)	諸費振替日	22日(水)	クラブ(3年見学) なかよし作品展 児童生徒文化発表会(書道)
7日(火)		23日(木)	
8日(水)	始業式・大掃除	24日(金)	キャリア教育(5年) 校内バスケットボール大会(6年)
9日(木)	給食開始 ●	25日(土)	
10日(金)		26日(日)	
11日(土)		27日(月)	
12日(日)		28日(火)	
13日(月)	成人の日	29日(水)	児童生徒文化発表会(図工展) ~2月2日(日)
14日(火)	人権週間	30日(木)	
15日(水)	委員会 ↓	31日(金)	地区バスケットボール大会(6年) ↓ ●
16日(木)	代表委員会 ↓		

2月の予定

4日(火)児童会役員選挙(6h) 7日(金)新1年生入学説明会(10時)

25日(火)参観・懇談会(5・6年・ひまわり) 26日(水)参観・懇談会(1~4年) 27日(木)6年生を送る会

3学期生活目標

感謝の気持ちをもって、心豊かに過ごそう

1月のめあて
「ありがとう。」が言える子になろう



まごの5せ



○1. 17 避難訓練について

今回の1. 17 避難訓練は、「阪神・淡路大震災」での教訓を受け、「今後起きるであろう、災害時の行動様式を児童、学校職員が認識し、冷静かつ適切に対応できるようにすること。」を目的に取り組みます。地震発生での第1次避難から、地震後の火災発生を想定した火災訓練としての第2次避難までを行います。安全な避難を最優先にして取り組みます。

○テレビ放送について

テレビ大阪より、「住みやすい町1位に選ばれた尼崎に迫る」をテーマに尼崎の給食の魅力を伝える取材を受けました。放送は令和2年1月18日(土)18時58分~20時54分放送「大阪人の新常識」という番組内です。短い時間かもしれませんがお楽しみに!!(OA後1週間TVerにてインターネット配信があります。)

※職員の休暇取得に伴う後任をお知らせいたします。

4年4組 担任 武本成生

2年5組 担任 河村 滯

新学習担当 大槻陽子